

BOSE

PROFESSIONAL

BOSE WORK

遠隔会議ソリューション製品カタログ

2022年11月版





仕事はもう、場所を選ばない。

**BOSE WORKソリューションが、
離れた空間で働く人と人をつなげていきます。**

昨今のハイブリッドワークの普及により、オフィス勤務・リモート勤務を問わず遠隔地をつないだビデオ会議が日々の業務の中で日常となりつつあります。会議は、仕事を前進させるものです。BOSE WORKソリューションが、シンプルな操作とボースのクリアなオーディオでスムーズな会議を実現します。

BOSE WORKソリューション 製品ラインナップ



オールインワンUSB会議デバイス
BOSE VIDEOBAR VB-S
▶ P3-4

小会議室・役員個室に

カメラ・マイク・スピーカーを1台に搭載。ウルトラコンパクトなWEB会議用デバイス。3x3mまでの打ち合わせスペースや小会議室、役員用個室に最適。



オールインワンUSB会議デバイス
BOSE VIDEOBAR VB1
▶ P5-6

中会議室・教室に

カメラ・マイク・スピーカーを1台に搭載。上質なサウンドとクリアな映像を実現するWEB会議用デバイス。6x6mまでの中会議室や教室にも最適。



音声システム統合型ソリューション
BOSE CEILING AUDIO SOLUTION
▶ P11-12

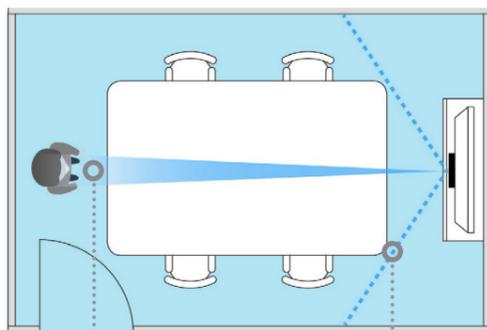
大会議室・役員会議室に

上質な音声システムが会議室と一体化したソリューション。ボースのスピーカー・アンプ・DSP、天井埋込マイクを組み合わせた包括的なシステム。



オールインワンUSB会議デバイス

BOSE VIDEOBAR VB-S

Zoom
CertifiedそのWEB会議を、
もっと近くに、心地よく。

すばやく簡単に設置できる、超小型オールインワン USB 会議デバイスです。高性能なマイク・カメラ・スピーカーをコンパクトなボディに全て搭載。最大3 x 3m程度の空間で上質なオーディオと映像を実現。

対応する広さ	最適な人数	最適な空間
最大 3m×3m	目安 1~5人	役員個室 打ち合わせスペース 小会議室 ホームオフィス

増設マイク不要で
奥行き4mまで対応

水平視野角115°で
全員フレーム内に

4K対応
ウルトラHDカメラ

4つの自動ビーム
ステアリングマイク

わずか5cmの
薄型デザイン

Bose独自の
トランスデューサー

Bluetooth対応

スライド式の
プライバシーカバー

ウルトラコンパクトなボディにすべて搭載
卓上に置けるミニマルなデザイン

高さ5cm x 幅27cm x 奥行9cmのコンパクトなボディに小型高性能スピーカー、4基のビームステアリングマイク、4K対応ウルトラHDカメラを全て搭載。卓上ディスプレイの下にも収まるサイズ。

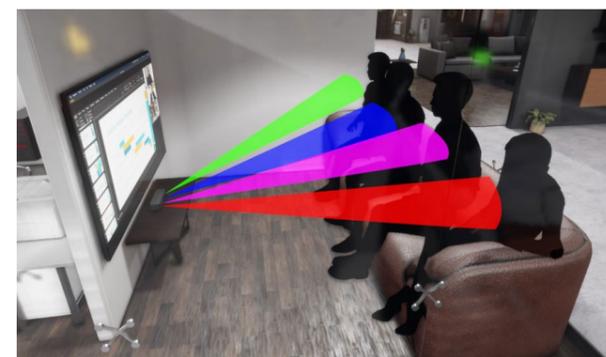


Groupモード:複数人のミーティングに。

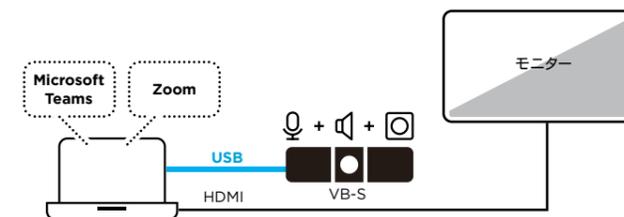
Individualモード:遠隔講義やプレゼンに。

2つのオートフレーミングモードで
会議もプレゼンも、最適な画角に自動調整

VB-Sは4K対応ウルトラHDカメラを搭載。業界トップクラスの115°の広い水平視野角。Groupモードでは、会議室内の人の顔と体を自動的に認識して全員がフレームに収まるように調整。離れた場所にいる参加者に全員が映ったクリアな映像を届けます。また、プレゼンターが1人の場合に最適なIndividualモードを有効にすると、話したり動き回ったりするプレゼンターを動的に追いかけてフレームに収めます。教員・講師に理想的なオプションです。

奥行き4mまで増設マイク無しで收音
鋭いマイクビームが発言だけをピックアップ

BoseのVideoBarはビームフォーミングマイクを搭載。VB-Sは4つのマイクにより形成される4本のマイクビームが人物の発言それぞれを自動的に追従しながら收音します。また各ビームは鋭くピンポイントで発言者を捉え、雑音の少ないクリアな音声を收音できます。さらに、收音除外ゾーンを設定すれば、入り口や通路などからの不要な音声を排除することが可能。リモート先との自然な会話を実現します。



USBケーブル1本でPCと接続するだけ

TeamsやZoomなどのWeb会議ツールがインストールされたPCとUSBケーブル1本だけで接続。卓上や会議室がケーブルで雑然とすることなく、シンプルで整頓された会議室に。

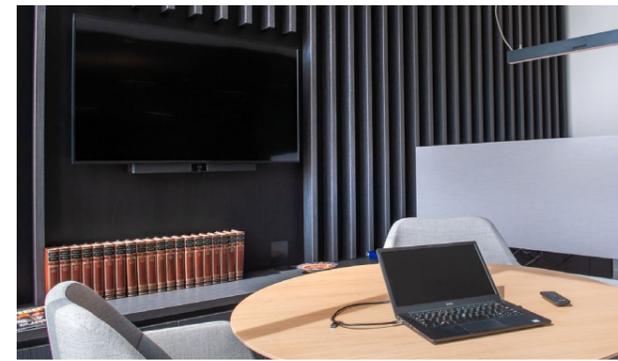


主な特長

- 4K UHDカメラ (プライバシーカバー内蔵)
- 2つのオートフレーミングモード
- 4本のビームステアリングマイク
- スピーカー:モノラル
- USB-C接続 (変換アダプタ付属)
- Bluetooth対応
- 専用の無料ソフトウェア
- ディスプレイマウントキット (別売)

設置例・アクセサリ P9 ▶

オールインワンUSB会議デバイス
BOSE VIDEOBAR VB1



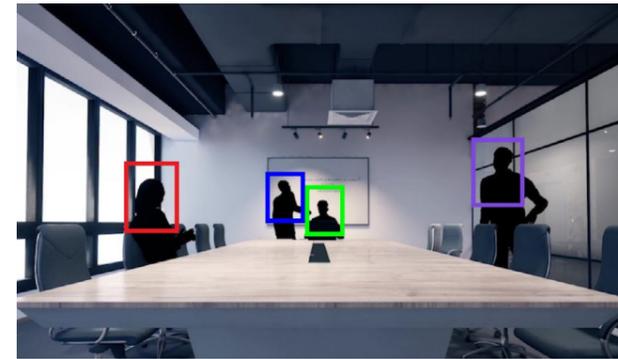
**薄型ボディで、圧倒的に高性能
どんな内観にも溶け込む上質なデザイン**

高さ5cm x 幅69cm x 奥行10cmの薄型ボディに小型高性能スピーカー、6基のビームステアリングマイク、4K対応ウルトラHDカメラを全て搭載。壁面や棚の上、ディスプレイの上下にも取り付け可能で内観に溶け込むスリムなデザイン。



**人物を自動で認識するオートフレーミングで
いつでも最適な画角に調整**

VB1のカメラは、人物の表情もホワイトボードの文字もクリアに映す4KウルトラHDカメラ。水平115°の広い視野角で、座席の近くのメンバーも全員がフレームに入ります。人物の顔と体を検出して画角を自動調整するオートフレーミング機能で、遅れてきたメンバーが端の席に座ってもすぐに画角内におさめれます。



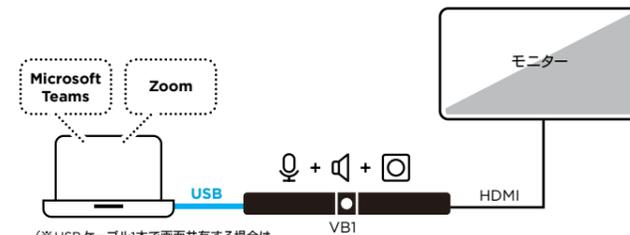
**奥行き6mまで増設マイク無しで收音
鋭いマイクビームが発言だけをピックアップ**

BoseのVideobarはビームフォーミングマイクを搭載。VB1は6個のマイクにより形成される4本のマイクビームが人物の発言それぞれを自動的に追従しながら收音します。また各ビームは鋭くピンポイントで発言者を捉え、雑音の少ないクリアな音声を收音できます。さらに、收音除外ゾーンを設定すれば、空調や通路などからの不要な音声を排除することが可能。リモート先との自然な会話を実現します。



USBケーブル1本でPCと接続するだけ

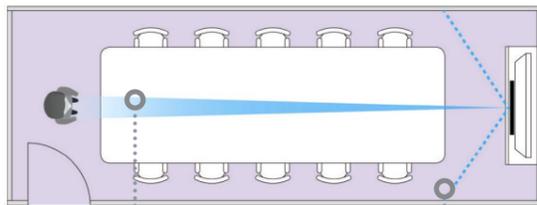
TeamsやZoomなどのWeb会議ツールがインストールされたPCとUSBケーブル1本だけで接続。卓上や会議室がケーブルで雑然とすることなく、シンプルで整頓された会議室に。



(※USBケーブル1本で画面共有する場合はDisplayLinkのインストールが必要)

**自然なサウンド、クリアな映像、
仕事をもっと快適に。**

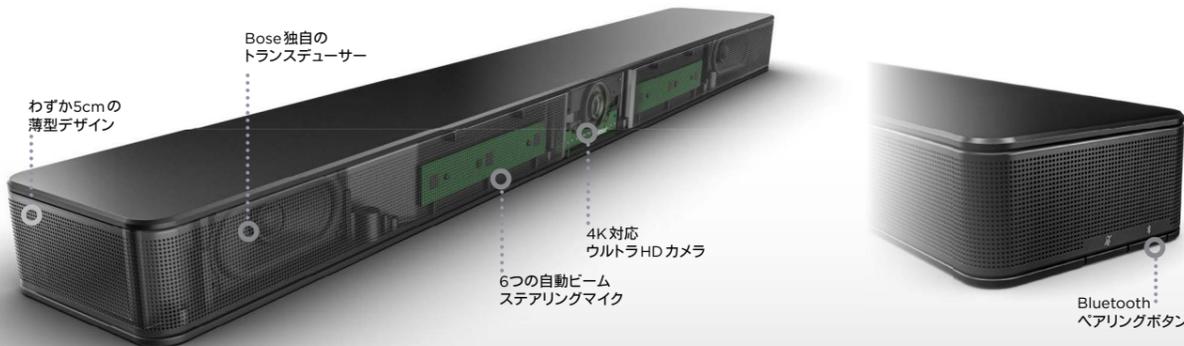
上質な音声とクリアな映像を提供するオールインワンUSB会議デバイスです。高性能なマイク・カメラ・スピーカーをコンパクトなボディに全て搭載。最大6 x 6m程度の空間で上質なオーディオと映像を実現。



増設マイク不要で奥行き6mまで対応

水平視野角115°で全員フレーム内に

対応する広さ	最適な人数	最適な空間	
最大 6m x 6m	目安 6~15人	中会議室 教室	ハドルスペース オープンスペース



主な特長

- ・4K UHDカメラ (プライバシーカバー外付け)
- ・1つのオートフレーミングモード
- ・4本のビームステアリングマイク
- ・スピーカー:ステレオ
- ・USB-C接続 (変換アダプタ付属)
- ・Bluetooth対応
- ・専用の無料ソフトウェア
- ・ディスプレイマウントキット (別売)
- ・USB3.1Cケーブル (別売)

設置例・アクセサリ P9 ▶

USB会議デバイス VB-S
USB会議デバイス VB1
統合型音声システム ES1/DSA
パートナー
導入事例

BOSE VIDEOBARが解決する課題

1 “音声と映像の品質が悪くて、WEB会議がスムーズに進まない”

VB1/VB-S なら、全員の顔が見える・相手の声も聴こえる・発言がクリアに伝わる会議に変わります。高品質のカメラ・マイク・スピーカーが同じ部屋にいるかのような圧倒的な同室感を提供します。



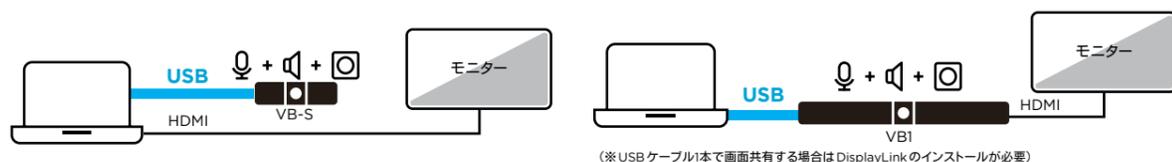
2 “設定、操作、管理が難しく、うまく使いこなせない”

VB1/VB-S は管理者・設定者・ユーザーのそれぞれの用途に最適化した3つの無料ソフトウェアをご用意。直感的なインターフェースで操作も簡単です。



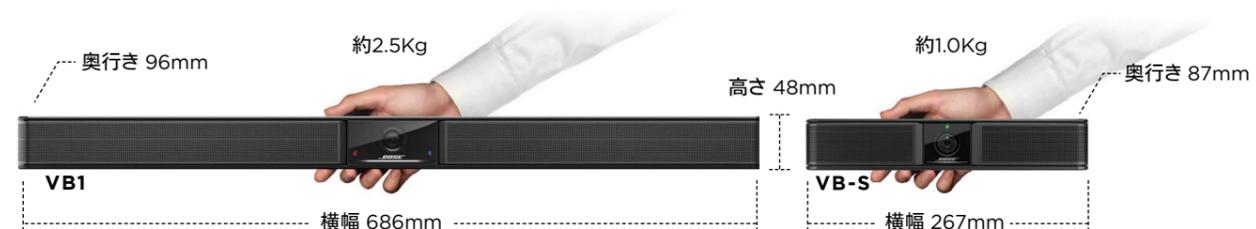
3 “カメラ、マイク、スピーカー… 機材や配線でテーブルが雑然とする”

VB1/VB-S は USB ケーブル1本で PC と接続するだけ。カメラもマイクもスピーカーも1台に搭載。しかもスリムでコンパクトなデザインだから、テーブル上もすっきり整頓できます。



BOSE VIDEOBAR 比較表

	BOSE VIDEOBAR VB1	BOSE VIDEOBAR VB-S
対応する広さ	最大 6m x 6m	最大 3m x 3m
最適な空間	中会議室、教室など	小会議室、打ち合わせスペース、役員個室など
カメラ解像度	4K	
カメラ視野角	123°(対角) x 115°(水平) x 8°(垂直)	
オートフレーム	グループモード	グループモード・インディビジュアルモード
プライバシーカバー	外付け・マグネット式	内蔵・スライド式
マイク收音範囲	奥行き6mまで	奥行き4mまで
スピーカー構成	ステレオ	モノラル
AUX音声入力	Bluetooth・3.5mmジャック	Bluetooth
画面共有	HDMI (DisplayLinkのインストールが必要)	—
対応アクセサリ	ディスプレイブラケット(別売) USB 3.1Cケーブル(別売)	ディスプレイブラケット(別売)
認証UC	Microsoft Teams, Zoom	Zoom
サイズ	686(W) mm x 48(H) mm x 96(D) mm 約2.5Kg	267(W) mm x 48(H) mm x 87(D) mm 約1.0Kg



選び方のポイント

『部屋の広さが3x3m以内である』

VB1/VB-S は使う空間の広さに合わせて機能を最適化。マイクの收音範囲やスピーカー構成が異なるのはこのためです。広さが3x3m 以内の場合は、コンパクトで設置スペースを取らないVB-Sがおすすめです。



『ケーブルを少なく整頓したい』

PCの画面をモニターに共有したい時も、DisplayLink機能に対応したVB1ならUSBケーブル1本でPCとつなぐだけ。VB1からHDMIでつながれたモニターに映像を出力することができます。会議室の配線周りもすっきり整頓されます。



『ウェビナーやプレゼンで使う』

VB1/VB-S はどちらも人物を認識して画角に収めるオートフレーミング機能を搭載していますが、VB-Sには一人のプレゼンターを動的にすばやく追従するIndividualモードもあります。動画配信やウェビナーにも最適です。



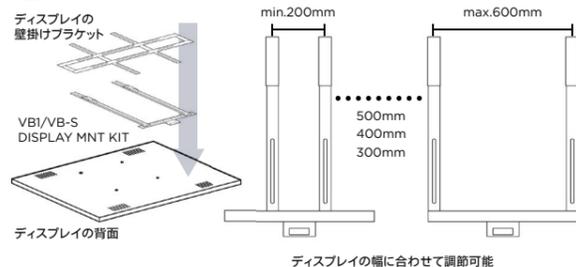
USB会議デバイス VB-S
USB会議デバイス VB1
統合型音声システム ES1/DS4
パートナー
導入事例

BOSE VIDEOBAR 別売アクセサリ

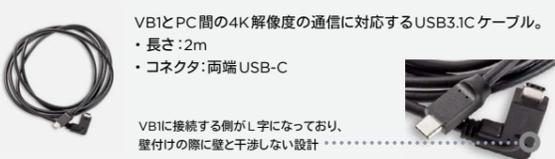
VB1/VB-S用 共通ディスプレイマウントキット VB1/VB-S DISPLAY MNT KIT



取り付け方のイメージ



VB1用 USB3.1Cケーブル VB1 USB3.1C CABLE



■ 使用例 ①「PCからモニターへ4K解像度で通信したい」

会議室の備え付けディスプレイに高解像度で画面共有したいときはもちろん、動画の撮影などにも。このケーブルで内蔵4Kカメラのポテンシャルを最大限に発揮できます。

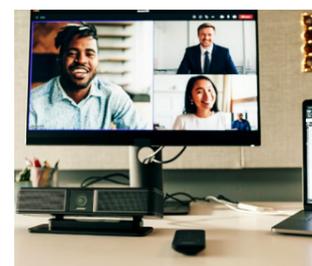


■ 使用例 ②「USBケーブルを延長したい」

USB延長ケーブルやエクステンダーを使用して延長する場合はこのケーブルを使うことをお勧めします。



BOSE VIDEOBAR 設置例



テーブルに置く

もっとも一般的な使い方。テーブルや棚の上に置く付属のテーブルスタンド。上振りの角度調整も可能です。



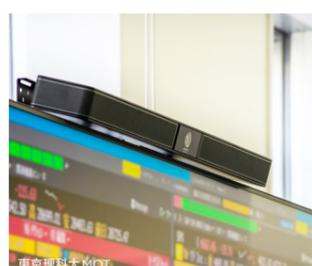
壁に取り付け

常設の会議システムに最適。付属のブラケットで壁面に本体を取り付けます。壁から浮かずに設置でき、角度調整もできます。



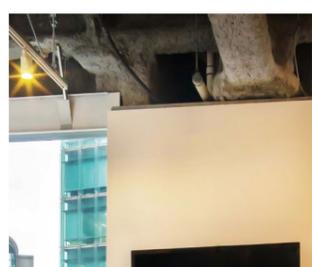
三脚スタンド

汎用のカメラスタンドに取り付けられ、自由に移動できるリモート配信システムに。ハイブリッド授業や収録に最適です。VB1はテーブルスタンドに、VB-Sは本体底面に取り付けネジ穴付き。



ディスプレイの上下

別売のディスプレイマウントブラケットを使えば、ディスプレイの上・下に取り付け可能。



移動式カート

移動カートにディスプレイとセットで取り付けられ、移動式の会議システムをローコストで構築。オープンスペースなどでもすぐに会議を始められます。

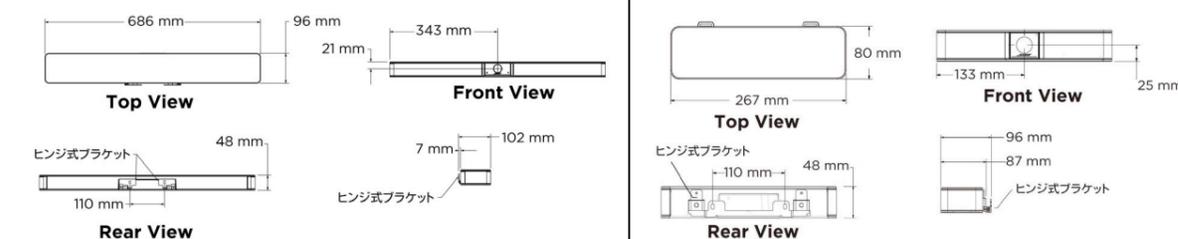
組み合わせ例



BOSE VIDEOBAR 仕様一覧

	VIDEOBAR VB1	VIDEOBAR VB-S
スピーカーアレイ		
構成	ステレオスピーカー、ポート付きエンクロージャー	モノラルスピーカー、ポート付きエンクロージャー
アンプ出力	20W/チャンネル、<0.3%歪み(周波数レンジ全体)	15W/チャンネル、<0.3%歪み(周波数レンジ全体)
周波数特性(-10dB)	85~20,000Hz	90~20,000Hz
最大音圧レベル@1m	89dB(IEC 60268-5、モノラル入力、壁掛け設置時)	86dB(IEC 60268-5、モノラル入力、壁掛け設置時)
マイクアレイ		
構成	マイク×6	マイク×4
周波数特性(±3dB)	20~15,000 Hz	
收音範囲	6.0m	4.0m
テクノロジー	静的およびアダプティブダイナミックビームフォーミング、3つの除外ゾーン、ステレオアコースティックエコーキャンセレーション(AEC)、デジタルノイズサプレッション	
カメラおよびビデオ		
視野角(FOV)	123°(対角)×115°(水平)×81°(垂直)	
画像センサー	8 MP	
焦点距離	0.5m(1.6ft)~∞	
レンズ	最大5xデジタルズーム、取り外し可能なカメラプライバシーカバー(付属)	最大5xデジタルズーム、カメラプライバシーカバー内蔵
位置調整	オートフレーミング機能またはマニュアルパンチルトズーム(PTZ)と任意で設定可能な3つのプリセット(Home、1、2)	
処理	自動ホワイトバランス、自動輝度調整、デジタルノイズリダクション	
USBデバイスビデオクラス(UVC)	v1.1	
サポートされているビデオ解像度	UHD 2160p(4K)、1080p、720p、960×480、848×480、640×480、640×360、432×240(30 fps)	
ビデオエンコーディング	H.264、M-JPEG	
接続		
USB	USB Type-C®(ホストコンピューターへ接続、DisplayLinkを使用)(USB3.0 UAC、UVC、HID)	USB Type-C®でホストコンピューターへ接続(USB3.0 UAC、UVC、HID)
ネットワーク	有線:RJ-45、1Gbps Ethernet(IEEE 802.3) ワイヤレス:Wi-Fi 802.11ac	ワイヤレス: Wi-Fi 802.11ac
Bluetooth	Bluetooth 4.2 HSP、A2DP、AVRCP、BLE	
ディスプレイ	HDMI 1.4bおよび2.1出力(ホストコンピューターからディスプレイへ接続)	—
アナログオーディオ入力	ステレオ3.5 mm入力	—
汎用入力	2ピンユーロブロック汎用入力	—
電源	外部電源アダプター、各国仕様の電源ケーブル(付属)入力: 110~240VAC、50/60Hz、最大1.5A 出力: 24VDC、1.875A	
ソフトウェアアプリケーション		
コントロール/設定	Bose Work Configurationソフトウェア	Bose Work Managementソフトウェア Bose Workモバイルアプリ
システム要件		
オペレーティングシステム	Windows 7、8.1、10/macOS 10.10以降 Chrome OS(Google Chromebook)	Windows 8.1、10/macOS 10.10以降 Chrome OS(Google Chromebook)
物理的仕様		
設置	テーブルスタンド(ケンジントンロックスロット・取付金具付き)	ウォールマウントブラケット(取付金具付き) ディスプレイマウントキット(別売)
外形寸法	686(W) mm×48(H) mm×96(D) mm	267(W) mm×48(H) mm×87(D) mm
質量	約2.5 kg	約1.0 kg
付属品	HDMI 2.0ケーブル、1.5 m USB-C 2.0ケーブル、5.0 m 赤外線リモコンおよび単四形乾電池(2本) 取付金具付き壁掛けブラケット 取付金具付きテーブルスタンド 電源アダプターおよび各国仕様の電源ケーブル 取付金具付きケーブルマネジメントキット カメラプライバシーカバー USB-A-C変換アダプター ユーロブロックコネクタ(2ピン)	USB-C to A 2.0ケーブル、5.0 m 赤外線リモコンおよび単四形乾電池(2本) 取付金具付き壁掛けブラケット 取付金具付きテーブルスタンド 電源アダプターおよび各国仕様の電源ケーブル 取付金具付きケーブルマネジメントキット USB-A-C変換アダプター ユーロブロックコネクタ(2ピン)

寸法図



音声統合型会議システム

BOSE ES1 SYSTEM

BOSE DS4 SYSTEM



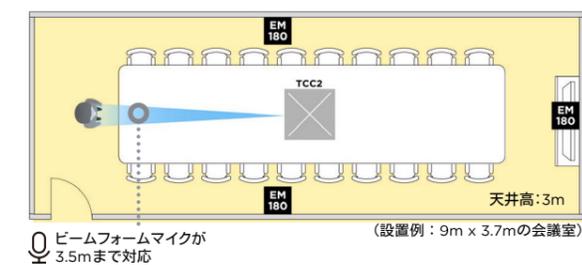
マイクやスピーカーを置かない広いテーブルで、より生産的な会議を。

ボーズの天井埋込スピーカー・プロセッサ・アンプと、ゼンハイザーの TCC2 天井マイクを組み合わせた上質な音声システムが会議室と一体化したソリューション。天井高や環境に合わせてスピーカーを選べる2つのセット。

対応する広さ	最適な人数	最適な空間
スペースに応じて適切な組み合わせをご提案します	役員会議室 大会議室 教室	

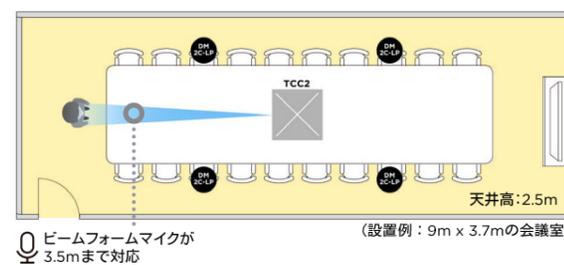
※ボーズ製品とゼンハイザー製品は別売となります。詳細は、ボーズ合同会社プロシステム事業部、またはゼンハイザージャパン株式会社ビジネスコミュニケーションの担当者にお問い合わせください。

BOSE ES1 SYSTEM



- Sennheiser TCC2 天井埋込マイク
- EM180 天井埋込スピーカー
- EX-1280C/EX-440C プロセッサ
- P2600A パワーアンプ

BOSE DS4 SYSTEM



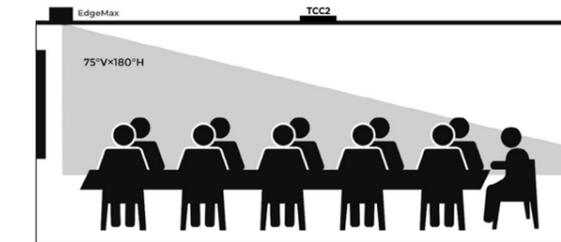
- Sennheiser TCC2 天井埋込マイク
- DM2C-LPx4台 天井埋込スピーカー
- EX-1280C/EX-440C プロセッサ
- P2600A パワーアンプ

システム構成のモデル詳細

EdgeMax天井埋込型スピーカー EM180



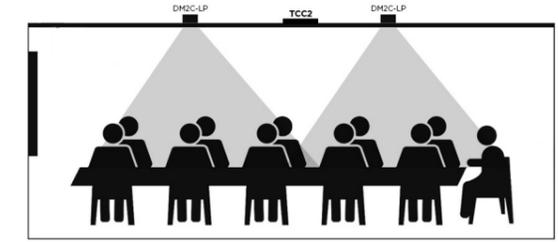
Bose 独自のフェイズガイドテクノロジーを搭載した「EdgeMax」シリーズは、意匠に溶け込む天井埋込型形状でありながら、露出型スピーカーと同等の広いカバレッジを実現する唯一無二のスピーカーです。



DesignMax天井埋込型スピーカー DM2C-LP



DesignMax DM2C-LPは、コンパクトなデザインで20Wの出力を実現し、狭い空間でも優れたサウンドを提供します。2.25インチのトランスデューサーを搭載し、85Hz~19kHzのワイドレンジを再生します。



ControlSpace音声会議用プロセッサ EX-1280C EX-440C

音声会議用プロセッサControlSpace EXシリーズは、オープンアーキテクチャ構造のオールインワン設計により、中小規模の会議室でのマイク入力の統合や音声処理を容易にします。



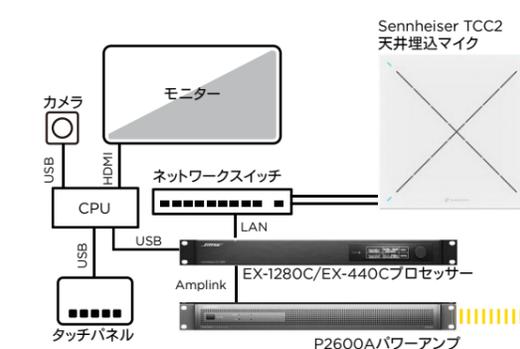
PowerSpaceパワーアンプ P2600A

600W/チャンネルで幅広い出力に対応し、ブリッジ接続不要でローインピーダンス/ハイインピーダンス伝送にフルチャンネルの出力を提供。単一ゾーンに2倍の出力を提供することもできます。

Sennheiser 天井埋込型マイク TeamConnect Ceiling 2

すばやく簡単に取り付け可能な天井埋込型マイク TCC2は、単一ビームフォーミングを利用した特許取得の自動ビームフォーミングテクノロジーを搭載。設定なしでマイクを室内の状況に合わせて最適化することができます。部屋のレイアウトや会議の参加者の位置に関わらず、TCC2マイクがニーズに合わせて、優れた柔軟性と自由に話せる空間を提供します。

接続例



BOSE ES1 SYSTEM
 EM180 天井埋込スピーカーのセット

EM180は壁面に目立たず設置できる革新的な天井埋込スピーカー。少ない本数で大型の露出型スピーカーと同等のカバレッジを実現できます。

BOSE DS4 SYSTEM
 DM2C-LP 天井埋込スピーカーのセット

DM2C-LPはロープロファイルのバックカンを備えたコンパクトな天井埋込スピーカー。天井裏の空間が限られている場所での設置に適しています。

(※上記システム例は、9m x 3.7mの会議室です。スピーカーの必要本数は広さによって変わります。)

USB会議デバイス VB-S
 USB会議デバイス VBI
 統合型音声システム ES1/DS4
 パートナー
 導入事例

テクノロジーパートナー Barco ClickShare



BARCO

Bose Work & Barco ClickShare

高音質、高画質、すべてワイヤレス。

クリアな音声と高画質映像を1台で実現するオールインワン会議用USBデバイス、Bose VB1。周辺機器とPC間の接続をワンクリックで無線化できるClickShare CXシリーズ。この二つを組み合わせれば、今まで以上につながるリモート会議をケーブルレスで実現します。

以下のBOSE製品は、ClickShare 認証を取得しています

BOSE VIDEOBAR VB1	EX-1280C
BOSE VIDEOBAR VB-S	EX-440C



テクノロジーパートナー Lenovo™ ThinkSmart™ solutions

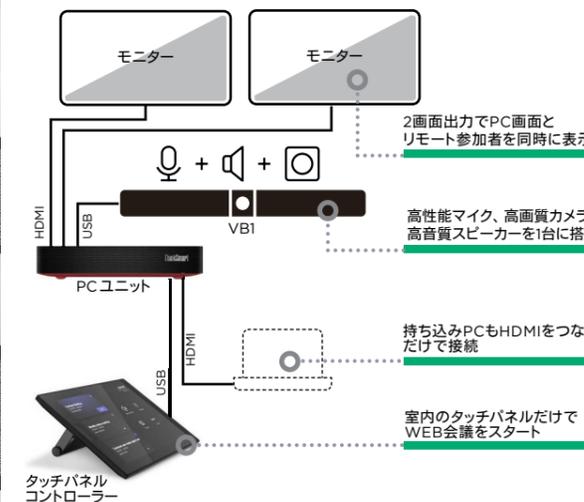


Lenovo

Bose Work & Lenovo™ ThinkSmart™ solutions

WEB会議に、シンプルなコントロールと、圧倒的な一体感を。

Teams Rooms や Zoom Rooms 専用開発された Lenovo ThinkSmart Core + Controller により、PC を会議室に持ち込まなくてもタッチパネルの簡単な操作だけで遠隔地にいる相手とのWEB会議をすばやく開始。PCユニットにVB1を接続すれば会議室にいるメンバーとリモート参加者全員に今までにない一体感をもたらします。



導入事例 エイベックス株式会社

VB1 x ClickShare

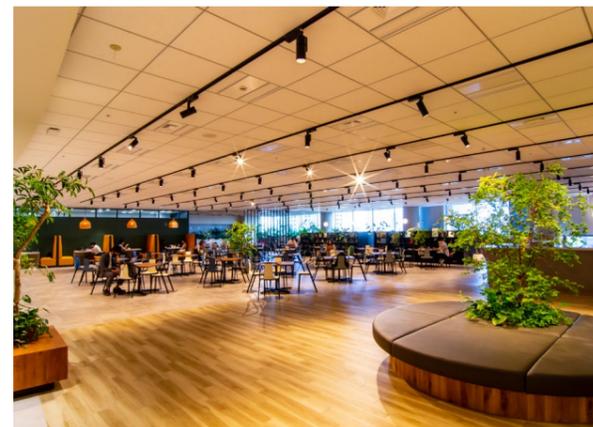


エイベックス株式会社は1990年代から現在に至るまで日本の音楽シーン、エンタテインメントマーケットを牽引するリーディングカンパニーとして、常に業界に影響を与える斬新な施策を実践してきました。現在も1400人を超える社員が日々アイデアをぶつけ合いながら、今までにない音楽カルチャーの創出を続けています。2022年、青山にあった本社ビルから麻布十番に移転、新たな環境での就業がスタートしました。新しい企画や発想を実現するために欠かせないのが社内外の関係者との密度の濃い打ち合わせの数々です。Google MeetをメインのUCプラットフォームとして使いながら、外部の関係者が使用するZoomやTeamsといった様々なプラットフォームとも

シームレスに連携できる柔軟性の高い会議室環境が求められました。6人程度の小会議室から10人程度が入る中会議室、そして役員の個室、そのすべてに採用されたのは、Bose Videobar VB1とBarco ClickShareのコラボレーションソリューションでした。ClickshareボタンをPCのUSBポートに差すだけで、会議室内のモニターへワイヤレスで画面共有が可能になり、加えて音声や映像もワイヤレスでVB1とやり取りできる高い利便性をもたらします。また、どの部屋に行っても同じシステムが導入されていることで操作が共通化され、誰でも簡単にストレスなく使える環境を作り出すことに成功しています。

「BoseのVideobarを初めて知ったときは、とにかくちょうどいい、という印象でした。それは、価格や機能面はもちろんのこと、ブランドのイメージやクオリティも含めての印象です。」

- 細谷竜臣 氏
エイベックス株式会社
人事総務本部 総務グループ 総務ユニット マネージャー



導入事例 立命館大学 大阪いばらきキャンパス

VB1



立命館大学は、京都を中心に4箇所にキャンパスを構え16学部、21研究科、35,000人の学生を擁する日本屈指のグローバル総合大学です。日本のみならず世界中から集まる学生達とそのキャンパスで多様な価値観や文化を肌で感じることができるよう、キャンパスデザインにおいても出会いと交流が活発に起こるよう考えられています。Bose Videobar VB1は、そんな立命館大学の多様性を支えるハイブリッド授業用の機材として20人から30人の中規模教室での使用を想定して導入されました。中規模教室においては、遠くまで集音できるマイク性能、また教室全体をより広角に捉えられるカメラ、そして

教室全体にクリアな音声を届けられる高いスピーカー性能が必要です。また、三脚スタンドに設置し任意の位置、高さで設置できるなど自由に動かせるメリットも重要でした。教室を動き回って授業をする教員にとっては、マスクをしていても人物を自動認識して画角や寄りを調整するオートフレーミング機能をリモコンのボタン一つで起動できるのも好評だったといえます。Bose Videobar VB1に代表されるオールインワンUSB会議デバイスがもたらすスムーズで活発な遠隔コミュニケーションは、対面で行う授業に遠隔地からも学生が参加するハイブリッドな授業形態を高い次元で実現します。

「ソーシャルディスタンスの確保のために教室内に散り散りに着席せざるを得ない状況なので、VB1の高いマイクピックアップ性能が活きました。相手の発言もBoseらしいはっきりとした音で聞きとりやすいと評判です。」

- 倉科 健吾 氏
立命館大学 情報システム部 情報基盤課



導入事例

東京理科大学 大学院経営学研究科技術経営専攻(MOT) VB1、ControlSpace EX



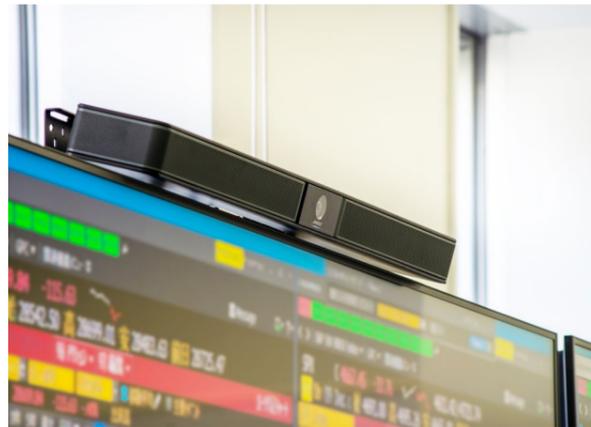
東京理科大学が設置する大学院経営学研究科技術経営専攻(MOT)は、社会人学生を対象とする専門職大学院として、社会の急速な変化に迅速かつ革新的に対応できる高度専門職業人の養成を目標としています。そこでは、教授や学生同士のコミュニケーションから生まれる知的な刺激や新たな価値観との出会いも非常に重要な価値であるといえます。しかし、コロナによる緊急事態宣言により、リアルな場での授業を行うことに制限が求められました。中でも苦労したのが、活発な議論と学習への高い意欲がもたらす教室特有の熱気と臨場感をオンラインで参加する人たちにも届けるという点でした。その課題に応えたのは、日本を代表するテクノロジーカンパニーであるソニーマーケティング株式会社でした。ソニーは最新のAI技術を搭載したカメラと、教室内拡声と配信の両方において高いクオリティ

を発揮する天井マイクを設置。教室内拡声用に採用されたスピーカー、Bose MSA12Xとの組み合わせにより、扇形で階段形状の教室全体にハウリングをおさえながら自然な拡声を提供しています。またシステムの中核としてControlSpace EX-1280Cプロセッサが、PCを経由して配信先にもクリアな音声を届け、リアルとオンラインの双方に一体感を生むブリッジとして機能しています。また、ディスカッションルームやティーリングルームにおいては、Bose Videobar VB1がシンプルな配信ソリューションとして活躍しています。次世代の理想的な教育現場に求められるのは、教室の熱気をオンサイトとファアエンドの双方でアンプリファイできる映像と音声の最先端テクノロジーであり、理科大MOTはその実現へと確かな一歩を踏み出したといえます。

「Zoomで参加する人にも教室の臨場感が共有できるようになったと感じています。オンラインとリアルの人々の差をなくして”一体感”を作り上げることで、それが一番工夫したことです。」

- 若林秀樹氏

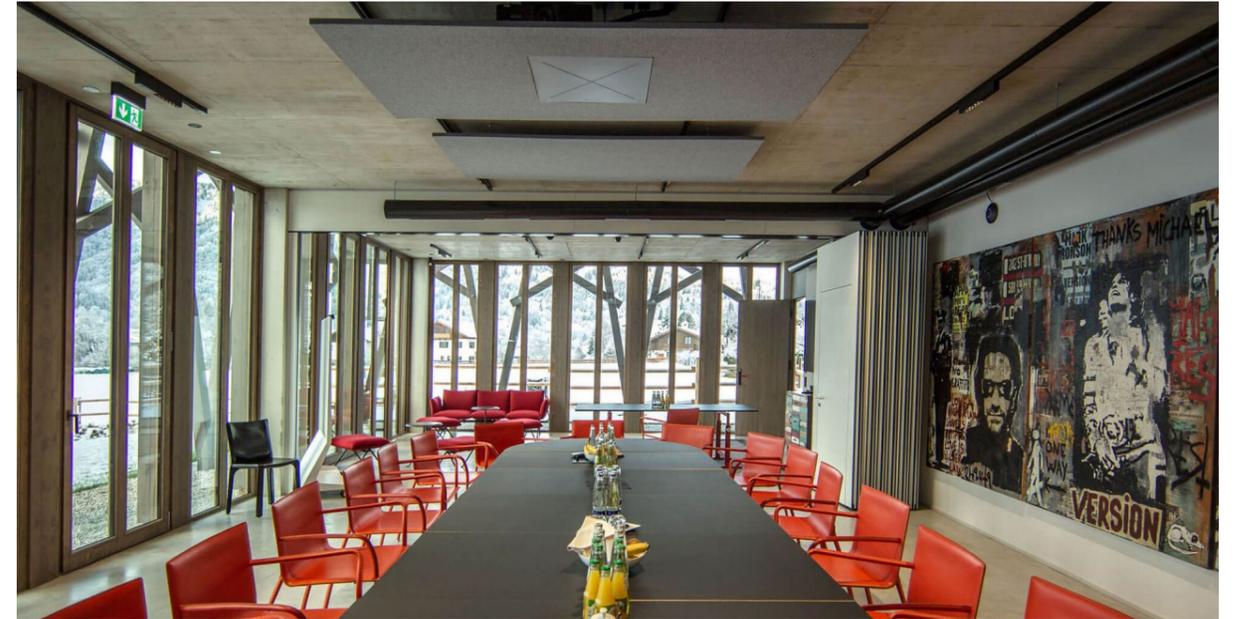
東京理科大学 大学院経営学研究科技術経営専攻 専攻長



導入事例

LARTOR(ドイツ)

MA12、EX-1280C、P4300A



ドイツ・ミュンヘン近くの美しい高山に囲まれた複合施設・LARTOR。博物館、イノベーションセンター、ホテル、レストランなどで構成されるこの施設内には、規模の異なる複数の会議室があります。大会議室には最先端のマルチメディア/ビデオ会議ができるシステムが備えられています。また、「クリエイティブ・ラボ」と呼ばれる小会議室は、小〜中規模グループのワークショップやミーティングに活用されています。会議室の必須要件は、柔軟性と卓越した性能を備えています。この会議室は企業の役員会議で使われることも多いため、インスピレーションと一体感を高める明瞭性を実現することも求められました。そこで、ControlSpace EX-1280Cをシステムの中核に配置し、ZoomやSkype、Microsoft Teamsなどの異なるツールに対応したビデオ会議インフラストラクチャを提供することにしまし

た。モジュール式アレイスピーカー「Panaray MA12」の水平/垂直両方向の幅広い放射により、均一なサウンドを再生。MB4モジュール式低域スピーカーが、各種マルチメディアの再生をサポートします。ビデオ会議システムには、音響パネルでカモフラージュされたHDレーザープロジェクター(EPSON EB-L610U)と、部屋の内装に溶け込むように特殊コーティングを施したゼンハイザーTCC2 (TeamConnect Ceiling 2)天井埋込型マイクが設置されています。ポーズの会議室向け製品とゼンハイザーのマイクを組み合わせることで、音声システム全体が一体化し、信頼性の高いパフォーマンスを確保しています。これにより、ガラスやコンクリートなど反射の多い表面が多く使用されている室内にもかかわらず、明瞭に聞き取りやすい通話を実現しています。

「今回の案件は、設計と選び抜かれた製品が、驚きのビデオ会議体験を生み出すことを示す、お手本のようなプロジェクトでした。ポーズはプロジェクトのあらゆる段階で積極的なサポートを提供してくれたのです」

- マネージングディレクター、アンドレアス・キースリング氏
KIESSLING Medientechnik





ボーズが会議を一つに。

会議室向けのUSBオールインワン製品、デスクトップ&モバイル会議用製品、そして会議室統合型システムにより、シンプルな操作とボーズのクリアなオーディオをあらゆる会議室で実現します。BOSE WORK ソリューションなら、聞き取りやすく、見やすく、理解しやすい、自然なコミュニケーションで、仕事の効率がより向上します。

お問い合わせ

ボーズの会議ソリューションの全製品についての詳細は、次からお問い合わせください。

[PRO.BOSE.COM/contact](https://pro.bose.com/contact)



PROFESSIONAL

[PRO.BOSE.COM](https://pro.bose.com)

ボーズ合同会社 〒106-0032 東京都港区六本木 1-4-5 アークヒルズサウスタワー 13F プロシステム事業部：03-5114-2750

Bose, Videobar, Bose Work, ControlSpace, PowerSpace, EdgeMax, および DesignMax は、Bose Corporation の商標です。Sennheiser, Microsoft Teams, Google Meet, Zoom, Bluetooth, HDMI, VESA, Barco ClickShare CX-30, Barco ClickShare CX-50, Lenovo, Windows, Mac, iOS, Android, Chrome OS, および ThinkSmart は、所有権を保有する各社の登録商標です。その他すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。2022年11月

製品の画像、システム例は実際の寸法とは異なります。仕様・規格・外観・価格は予告なく変更することがあります。またご使用にあたっては、取扱説明書を必ずご確認ください。